

生きる力を高め、医療福祉を創造するはばたき福祉事業団  
患者が変われば、医療は変わる

## 厚生労働大臣も出席し

## 来年3月26日、薬害エイズ裁判和解20周年記念開催！

薬害エイズ裁判が和解成立した3月29日の前後に、毎年、東京・大阪原告団・弁護団の主催で和解記念集会を行っています。来年平成28年は、和解から20年という節目の年になります。

この節目の年にふさわしい集会となるよう、はばたき福祉事業団が事務局となって準備を進めております。本年6月に行われた、原告団と厚生労働大臣との定期協議では、大臣に集会へのご出席をお約束いただきました。

今回は、エイズ治療・研究開発センター（ACC）および全国8か所のブロック拠点病院で実際に診療等を中心的に担当していただいている医師にお集まりいただき、シンポジウム形式で、和解によって整備された被害救済医療を振り返り、今後の医療に取り組む抱負を述べていただきます。また、2部構成にして、2部では軽食を取りながら、原告、弁護団等からの話や他の薬害被害者のご挨拶をいただく時間をとることを予定しております。ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳細はまた後日ご案内させていただきます。

日時：平成28年3月26日（土） 午後1時30分～

場所：ステーションコンファレンス東京 501AB

千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5階

\*第2部は会費制になります（招待者を除く）



大臣協議で和解集会の出席を約束した塩崎恭久厚生労働大臣。14年ぶりに現役の厚生労働大臣が出席します

## 原告団の要望で、エイズ対策推進室が設置されました

6月に行われた厚生労働大臣との定期協議で正式に設置が決まったエイズ対策推進室が、10月1日付で健康局結核感染症課に設置されました。早速10月23日には、新たに設立された一般社団法人HIV陽性者支援協会の挨拶を兼ねて訪問、同協会の説明や今後のHIV感染症対策についての話し合いを持ちました。

エイズ対策推進室は、恒久的に被害者医療や福祉も含めたエイズ対策を推進していくことを目的に、原告団の強い要望により実現したものです。感染予防や長期療養、合併症等、課題が山積のHIV対策ですが、今後のエイズ対策推進室の取り組みを注視していきたいと思えます。



▲浅沼一成結核感染症課長（左）の指揮のもと、エイズ対策推進室は動き出しました ◀同室の初代室長に就任した中谷祐貴室長（左）と北原加奈子室長補佐（右）

# 第12回はばたきメモリアルコンサート

## モルゴーア・クアルテット特集で来年4月12日に開催！！

機関紙40号にて既報の通り、第12回はばたきメモリアルコンサートが、平成28年4月12日（火）浜離宮朝日ホールにて開催されます。

今回のメイン演奏者は弦楽四重奏団のモルゴーア・クアルテットが務めます。第12回となる来年は、薬害エイズ裁判の歴史的な和解から20周年を迎える節目の年の開催になります。それにふさわしく池辺晋一郎先生が薬害被害者への思いを込めて作曲した弦楽三重奏曲「やすらぎの翼」を演奏します。モルゴーア・クアルテットは第1部モーツァルト、第2部では「やすらぎの翼」の後にボロディンを演奏します。今回は、モルゴーア・クアルテットの卓越した演奏をじっくりと聞いていただける、さながらモルゴーア特集の演奏会となる予定です。

その他にも、前回体調を崩し出演を辞退したピアニストの石岡久乃さん、若手演奏家としてフルート奏者の竹山愛さんも出演します。また、毎回好評をいただいている迫田朋子氏による被害者の思いに触れた詩の朗読も行います。

詳細については、今後機関紙やホームページなどでお知らせをしていきます。ぜひ、皆様方、多くの方々に、ご来場していただきたく、スタッフ一同お待ちしております。



モルゴーア・クアルテットのメンバー。3曲をたっぷり聞かせる今回は、ファンならずとも必聴のコンサートです！

## 血友病保因者、血友病家系女性のためのホームページ

### 「生きる力を育てましょう」が完成しました

血友病保因者、血友病家系女性のためのホームページ「生きる力を育てましょう」が完成しました。血友病の遺伝や保因に関して「あれ？」「なに？」と思ったり、「どうしたらいいの？」の疑問に答えます。また、血友病の保因者（キャリア）や血友病家系女性の方が、遺伝や保因の問題に向かい合うきっかけをつくり、キャリア（人生）に前向きに向かい合えるような相談とサポートの入口となっています。

血友病家系女性や血友病保因者の方は、人によって様々な問題を抱えている人もいます。健康のこと、人生にかかわること、生活に関わることなど、困難を感じる人が多いのではないのでしょうか。

こうした方々に、問題を整理したり、自分の人生を自分で決めるための準備をお手伝いするためのホームページです。

今後、血友病家系女性や血友病保因者の方が、気軽にどんなことでも相談ができる支援をこのホームページを通じて展開していきたいと考えています。

▼URLはこちら

血友病家系女性・保因者のための情報サイト

「生きる力を育てましょう」

<http://hemophilia-line.info/>



「生きる力を育てましょう」へは、はばたきのオフィシャルホームページのバナーからもご覧いただけます

## 第5回はばたきミニコンサートを開催しました

第5回はばたきミニコンサートが、10月24日（土）汐留ホールにて開催されました。メモリアルコンサートが開催されない今年度はミニコンサートに力を入れて、今までよりも音響設備等が整った会場で行いました。伊藤雅治さんのシャンソンや水口真寿美弁護士の歌曲も、これまで以上に会場に響き渡りました。はばたきが調査研究等でお世話になっているアクセライトの原田元氣さんはファゴットを演奏。曲の合間のトークでも楽しませてくれました。台湾からの留学生チョウ・チョンヤオさんは、原田さんのピアノ伴奏とご自分のソコの曲を2曲演奏しました。会場には、チョウさんの応援に駆けつけた留学生の方も多数見えていました。



熱演する原田さん。メガネがずり落ちるハプニングも



チョウさんは研究で忙しい中、毎朝練習してこの日に臨みました

また、来場者全員で歌う「みんなで合唱」では、若い方や外国の方も多量の中、薬害被害者である指揮者の巧みなリードで昔懐かしい歌を歌いました。トークのコーナーでは、厚生労働省の前医薬品副作用被害対策室長の岡本利久さんを交えて、医療以外の福祉、介護等のサービスにつなげていく仕組み作り等について伊藤さん、大平理事長と意見交換しました。そして、新潟の賛助会員の方から、来場者にお菓子のプレゼントがありました。

聴くだけでなく、参加もできるアットホームなミニコンサートもすっかり定着してきました。今後も新たなアマチュア演奏家を迎えて行いたいと思いますので、次回もお楽しみにしてください。

### ●北海道支部

今年8月、道内で初めて「健康訪問相談事業」の利用を始めた方がいらっしゃいます。

その方はいろいろな体調の変化もありながらご自宅で生活されています。利用のメリットは、今後地域で生活していく上で身近に相談できる人と繋がれること、自分で行っている製剤注射が打てなくなった時の対処方法を今から相談できること他いろいろありますが、今回の利用開始までの経過を支援して感じたことは、訪問看護師とのやり取りを通し、気がかり・心配な事への具体的な解決方法を、利用者自身が考えていける点だと思ひます。サービスを利用するもしないも自分で決められますが、まず情報がなければ、選ぶことも出来ません。どの人にとってもサポーターは多いほど心強いものだと思います。支部もお一人お一人に合わせたお手伝いを引き続きしていきたいと思ひます。

### ●東北支部

東北のある県では、秋が始まりそんな気配の9月、和解当時から被害者と支援者、医療者が年1回集まり、情報交換や近況を語らう会を行っています。この会は他県からも参加者がおり、毎年元気に参加している被害者がいる一方で、肝臓の状態が悪く、ここ数年参加できずにいる被害者もいます。来年以降も、一人でも多くの被害者がこの会に参加できることを願ってやみません。

### ●中部支部

昨年は、この地方の方が脳死肝移植の成功という、嬉しい知らせがありました。この地方の特長として、他の地区に比べ、皆さん結婚をし、家族の為に一生懸命仕事をしている方を多く見受けられます。

今後はこの地方の目標として、病氣と闘う被害者さんをいつも支えている家族のサポートを、病院の医師、コーディネーターと共に協力して、やって行きたいと思ひています。

### ●九州支部

被害者さんやご家族の高齢化が進み療養が長期化するとともに、年々患者さんの体調も生活状況も厳しさを増しています。そのためここ数年、とくに九州在住の患者さんの体調やおかれている状況を把握し、適切な医療や福祉につなげることが緊急の課題となっています。九州支部では、これまでお会いしたり電話でお話ししてきた患者さん以外の方にも手紙を出したり電話をおかけして、また、九州医療センターとも連携を強めて、早めの対応ができるような体制づくりに努めています。

### ●沖縄担当

沖縄は、東京本部の直轄として、沖縄担当が離島も含めて被害者への相談対応をしています。先日、沖縄で相談会を行いました。元気そうな被害者もいる一方で、脳内出血で倒れ、家族の献身的な介護と訪問看護を利用して、在宅医療を受けている方もおり、状況は様々でした。そうした被害者の医療の拠り所となるのは琉大病院です。健山正男先生をはじめ、血友病医師や看護師等が協力して診療にあたっている琉大病院の存在は、今後高齢化と共に病状が深刻化していく被害者を支えてくれることと思ひます。

## 支部便り

# 新宿区のHIV対策を学ぶ！ HIV/エイズ スタディー・バスツアー

日本毎年報告される新規HIV感染者約1,500名のうち、東京都は約1/3を占めております。とりわけ新宿区は日本有数の歓楽街である歌舞伎町もあり、全国で最も感染者数の多い自治体といえます。一方で、薬害エイズ裁判により設立された最新・最高度のHIV医療・研究体制を誇るエイズ治療・研究開発センター（AGC）やHIV/エイズをはじめとしたセクシャルヘルスの情報センターakta、その他様々な検査所や支援・啓発団体が集中し、最もHIV感染症対策が進んだ地域であるともいえます。

そこでははばたき福祉事業団では、新宿区内でHIV感染症対策に日頃から取り組んでいる新宿区保健所、akta、AGCをバスで巡る企画を考えました。そして10月24日、吉住健一新宿区長をはじめ、区議会議員や区の職員、さらに当事者や厚生労働省、医療者も参加し、「HIV/エイズ スタディー・バスツアー」として実施しました。



新宿区保健所では、お忙しい合間を縫って参加された区長からのご挨拶のあと、HIV健診会場を見学し、新宿区の取り組みを学びました。新宿2丁目にあるaktaでは、同地域特有のHIV感染症の問題や予防活動の取り組みについての説明がありました。またAGCでの講義では、このツアーでHIVの基礎を学んだ議員から次々と質問が寄せられ、HIVへの理解と関心の高まりを感じました。



▶吉住区長を囲んで記念撮影  
▲健診会場では職員が丁寧に説明してくれました

この企画は多方面の方のご協力のもと、実現しました。とりわけ行政側の窓口として、新宿区保健所の皆様には、交渉や調整にたいへんご苦労をおかけいたしました。このツアーが成功の裡に終了しましたのも皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

## HIV感染者を支援する新団体が設立されました

HIV感染者を支援する組織として、新たに「一般社団法人HIV陽性者支援協会」（理事長：伊藤雅治）が8月3日に設立されました。この協会は、2006年から始まった「HIV陽性者参加支援スカラシップ委員会」の活動が母体となっており、その委員会の構成メンバーであるはばたき福祉事業団、ぷれいす東京、日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラスが中心となって設立、運営を進めています。活動内容としては、スカラシップ委員会がこれまで行ってきたHIV感染者が日本エイズ学会に参加する際の交通費や学会参加登録料を補助するスカラシップを引き継ぐとともに、HIV/AIDSに関する情報収集・提供、知識の普及啓発、HIV医療・福祉の充実、HIV感染者の社会参加の促進など、幅広い活動を行っていきます。

はばたき福祉事業団の活動は、拠出金や補助金、助成金などで運営されています。しかし、運営費用は年々厳しさを増してきており、経費節減の努力を最大限にしておりますが、事業を安定的に取り組み、被害者を永続的に救済していくためには、多くの方からのご寄附、賛助金等のご支援が欠かすことができません。

はばたき福祉事業団は、平成23年11月1日に税額控除対象法人となり、はばたき福祉事業団へのご寄附は、以下のように税制上の優遇措置の対象となります。

### <個人によるご寄附>

所得控除と税額控除のうち、有利な方を選べます。税額控除は、税額から直接控除額を差し引きますので、所得控除と比べて減税効果が大きく、寄附者にとって大きなメリットになります。

### <法人によるご寄附>

一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金として算入できます。こうした制度もご利用いただき、ぜひとも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【郵便振替】

口座番号：00130-4-409457

名義：社会福祉法人はばたき福祉事業団



社会福祉法人はばたき福祉事業団  
Social Welfare Project HABATAKI Welfare Project

- 東京本部 〒162-0814 東京都新宿区新小川町9番20号  
新小川町ビル5F  
TEL 03-5228-1200 FAX 03-5227-7126
- 北海道支部 〒064-0805 札幌市中央区南5条西10丁目  
サンハイツ南5条1005号  
TEL/FAX 011-551-4439
- 東北支部 〒980-0812 仙台市青葉区片平1丁目2-38  
チサンマンション青葉通り403号 増田法律事務所気付  
TEL/FAX 022-215-0303
- 中部支部 〒461-0001 名古屋市東区泉1-1-35 ハイエスト久屋5F  
柴田・羽賀法律事務所気付  
TEL/FAX 0583-89-4909
- 九州支部 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-2-5  
東峰マンション第一西公園303号  
TEL/FAX 092-717-6329